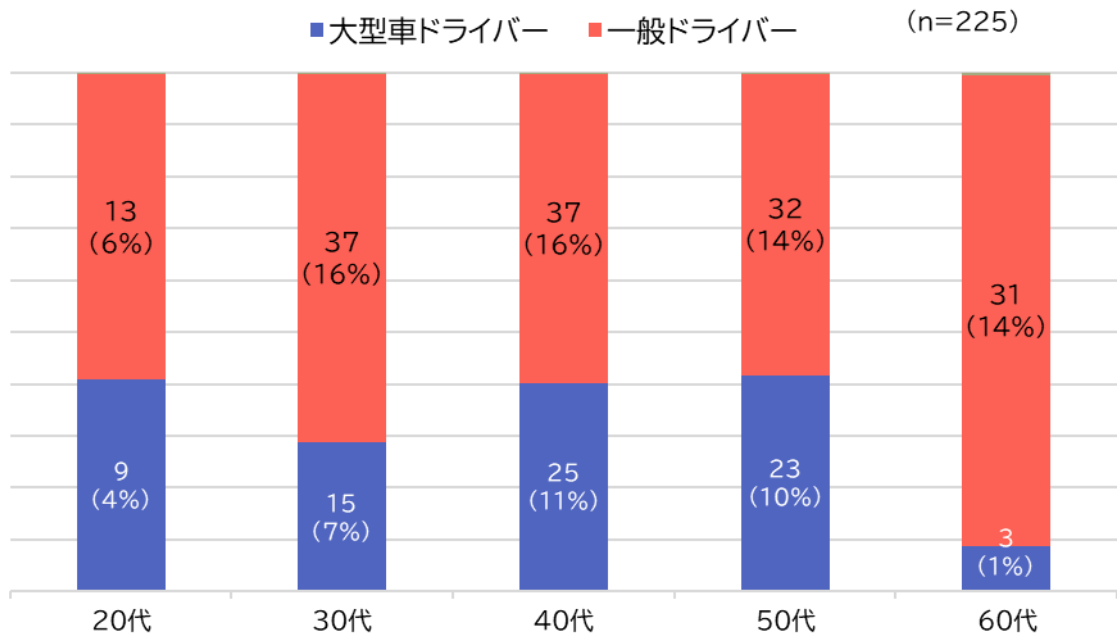


R4 ラジオ広報におけるドライバーへの Web アンケート調査結果（単純集計・クロス集計）

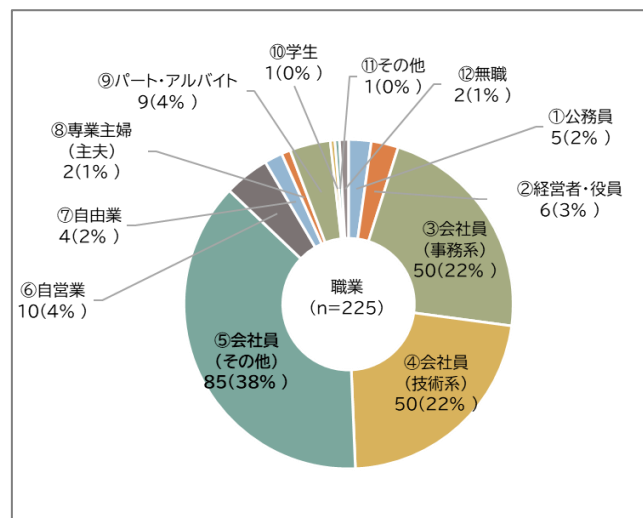
▶回答者の属性

〈年代〉



回答者 225 名のうち、約 3 割にあたる 75 名が「仕事で大型車を運転している」と回答した。大型車ドライバーは 40～50 代の割合が高く、一般ドライバーは 20 代の割合が低かった。

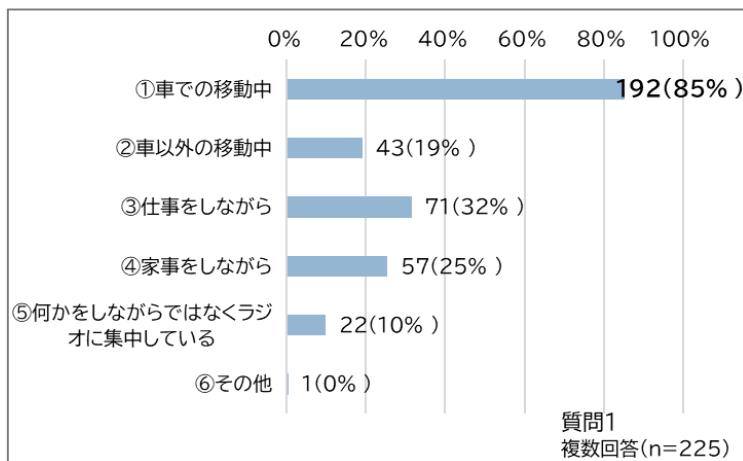
〈職業〉



回答者の職業は、「⑤会社員（その他）」が約 4 割と最も多かった。

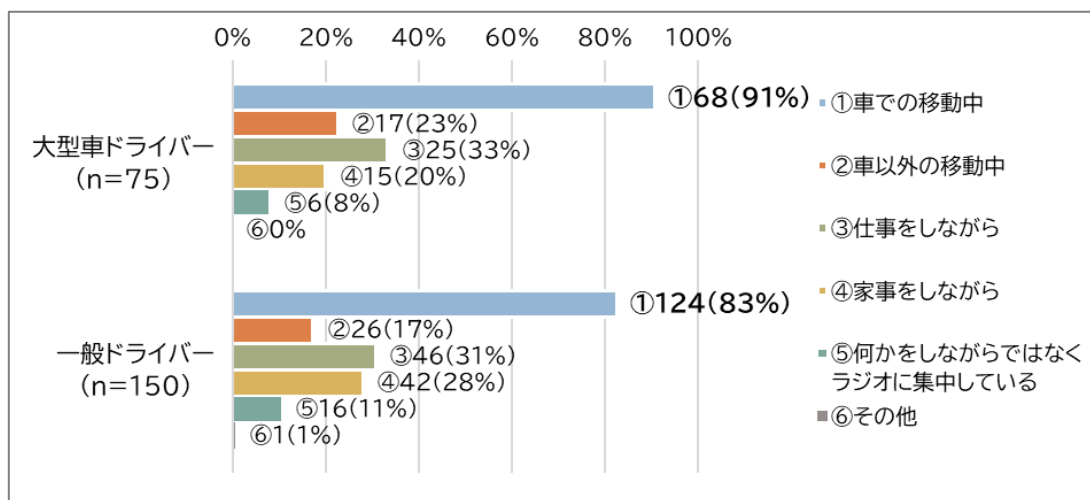
▶本調査（共通質問項目）

【質問1】あなたが普段ラジオを聴く際の聞き方として多いものは次のうちどれですか。あてはまるものを全てお答えください。（いくつでも）



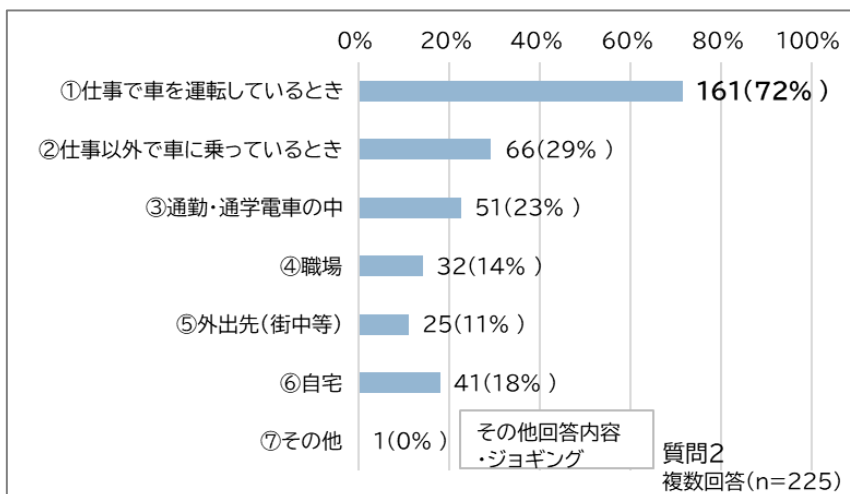
ラジオを聴く際の聞き方として、「①車での移動中」と回答した割合が約9割と最も多かった。

大型車ドライバー／一般ドライバー別（複数回答）



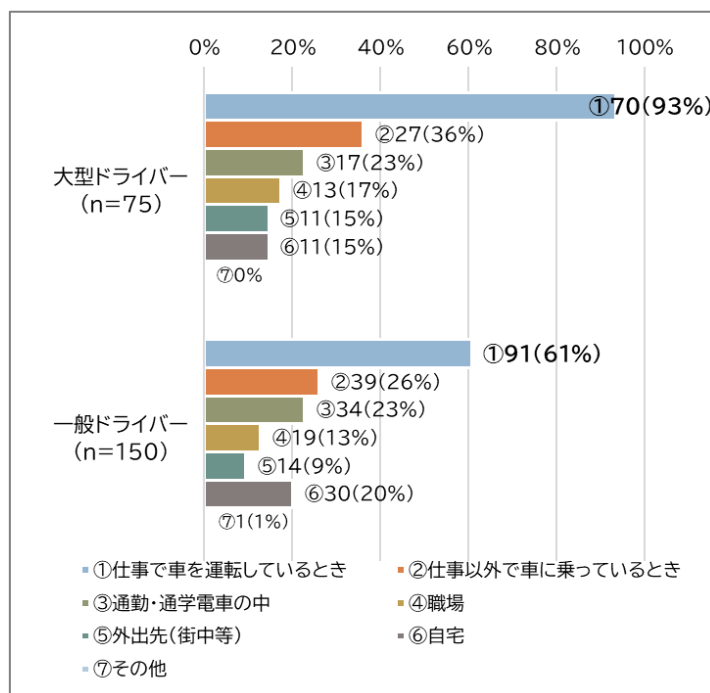
大型車ドライバー／一般ドライバー別にラジオを聴く際の聞き方をみると、いずれも「①車での移動中」が最も多かった。特に大型車ドライバーは約9割と非常に高い割合となっている。

【質問2】 あなたは「大型車通行適正化ラジオ CM」をどこで聴きましたか。(いくつでも)



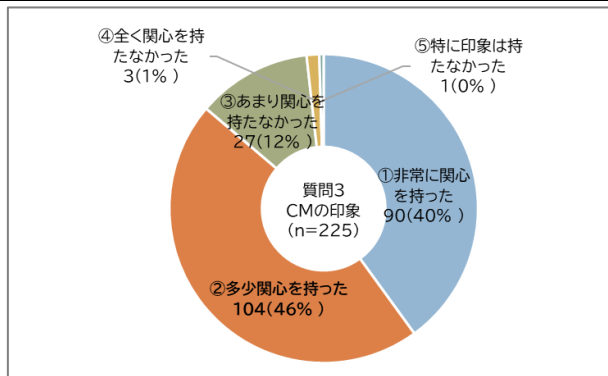
ラジオはドライバーとの親和性が高いため、本ラジオ広報も、仕事または仕事以外で車に乗っている時に多く聴取されていた。その他回答1件の具体的な内容は「ジョギング」であった。

大型車ドライバー／一般ドライバー別（複数回答）



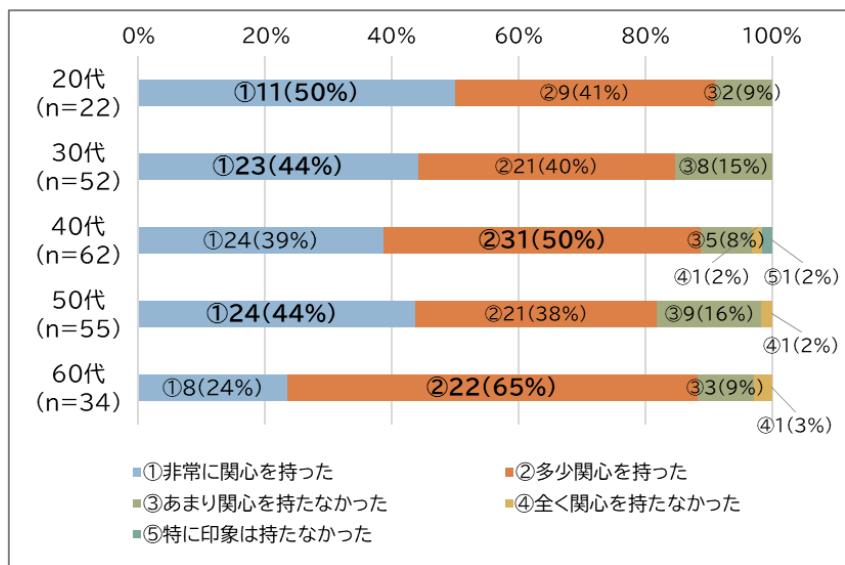
CM聴取場所を大型車ドライバー／一般ドライバー別に見ると、大型車ドライバー、一般ドライバー共に「①仕事で車を運転しているとき」が最も多く、特に大型車ドライバーは9割以上と非常に高い割合であった。

【質問3】「大型車通行適正化ラジオ CM」の内容を聴いて、どのような印象を持たれましたか。



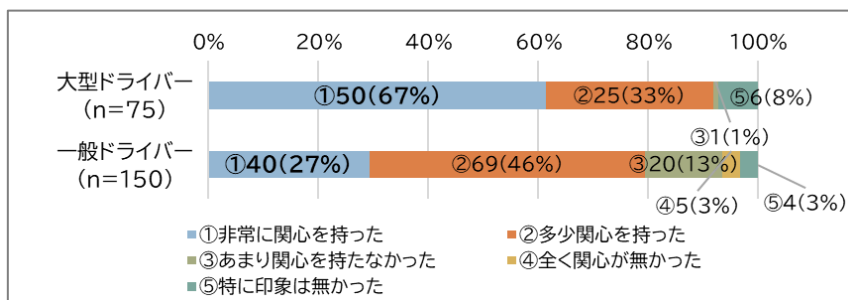
ラジオ CM を聴いて、多少でも関心を持ったと回答した割合は約 9 割となり、何らかの印象を持たせることができた。

年代別



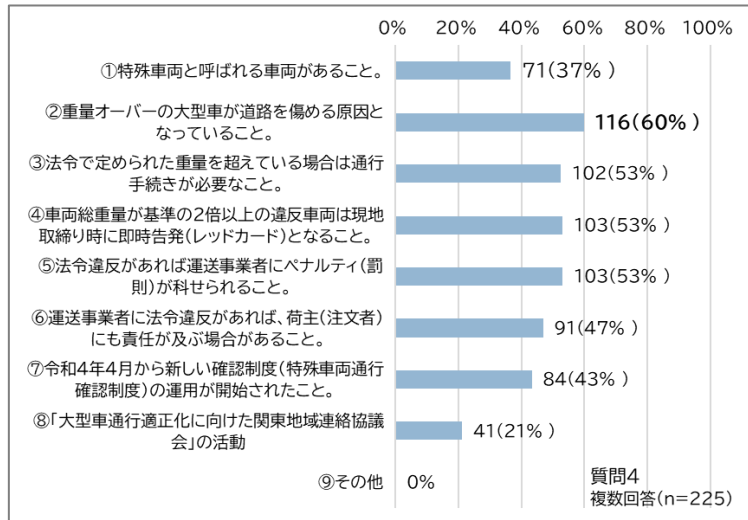
年代別に見ると、「①非常に関心を持った」「②多少関心を持った」と回答した割合の合算は、20代～60代までそれぞれ 8 割～9 割となり、年代に因らず、多少なりとも関心を持ってもらうことが出来た結果となった。

大型車ドライバー／一般ドライバー別



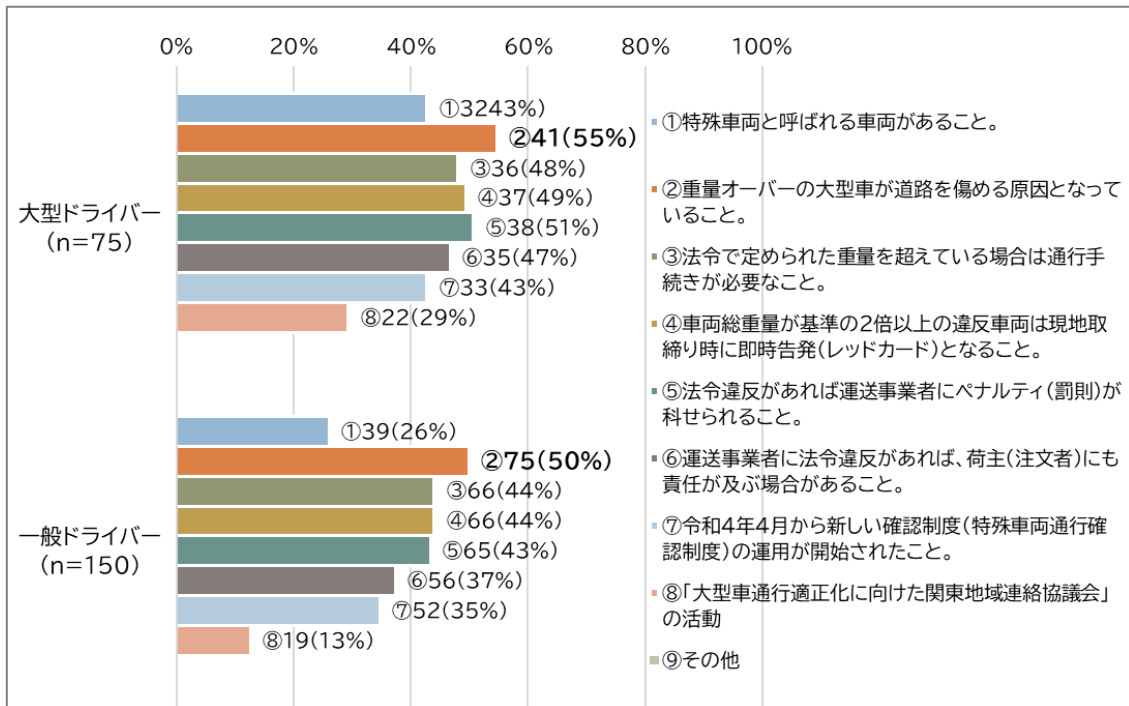
大型車ドライバー／一般ドライバー別にみると、「①非常に関心を持った」と回答した割合は、大型車ドライバーが約 7 割で一般ドライバーより関心の度合いが高い結果となった。

【質問4】あなたが関心を持ったのはどのような点でしたか。あてはまるものを全てお答えください。
(いくつでも)



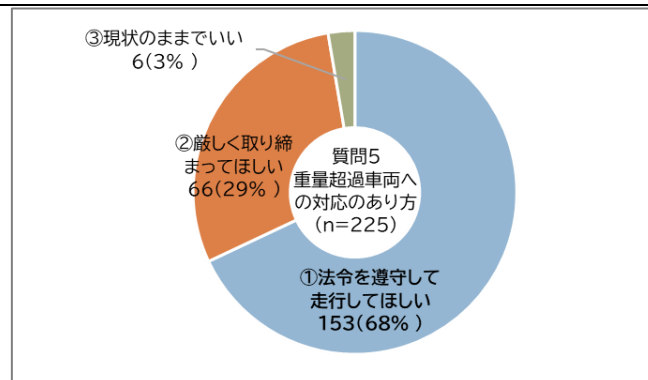
CM内容で関心を得た点として最も多かった回答は、「②重量オーバーの大型車が道路を傷める原因となっていること」であった。

大型車ドライバー／一般ドライバー別（複数回答）



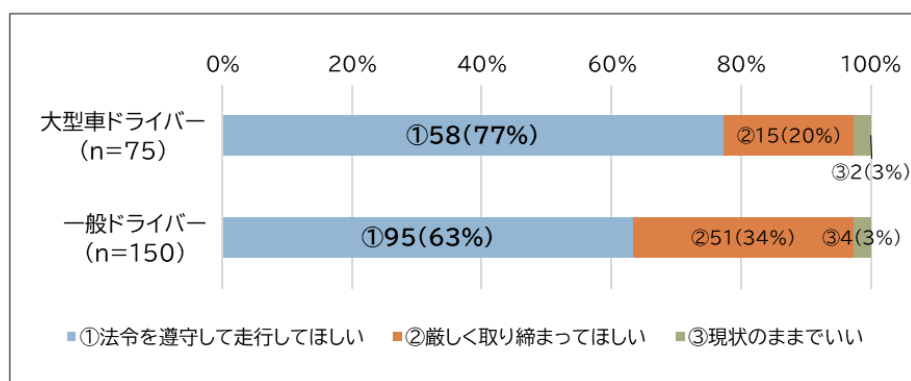
大型車ドライバー／一般ドライバー別に関心を持った内容をみると、大型車ドライバー、一般ドライバー共に、「②重量オーバーの大型車が道路を傷める原因となっていること」が最も多かった。

【質問5】「大型車通行適正化ラジオ CM」の内容を聴いて、あなたは重量オーバーの大型車に対してどうあるべきとお考えですか。最もお気持ちに近いものをお選びください。



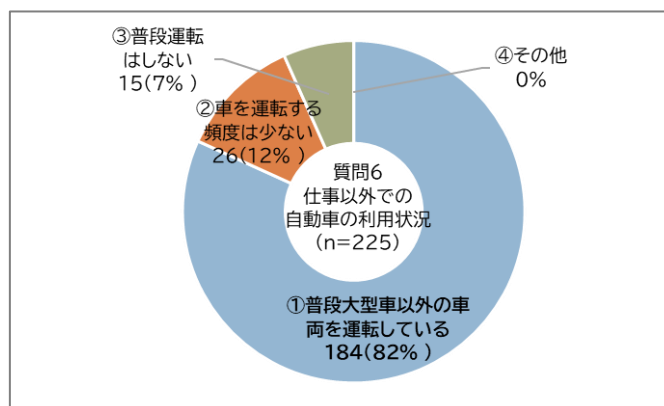
重量超過車両への対応のあり方については、「①法令を遵守して走行してほしい」と回答した割合が約7割で最も多かった。

大型車ドライバー／一般ドライバー別



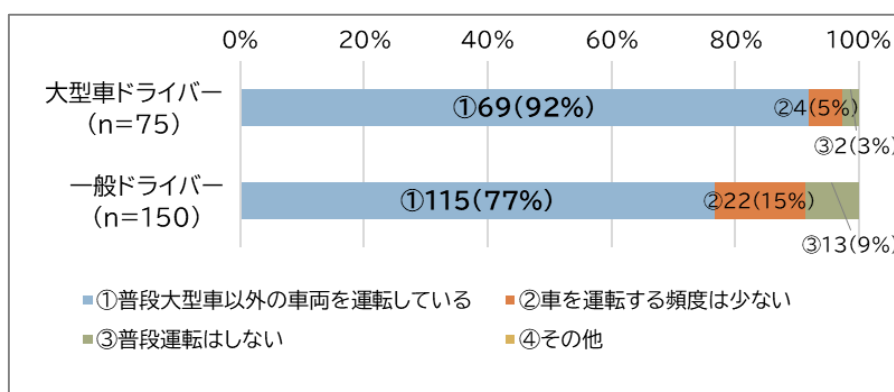
大型車ドライバー／一般ドライバー別では、重量超過車両への対応のあり方について、いずれも「①法令を遵守して走行してほしい」と回答した割合が最も多かった。一方で「厳しく取り締まってほしい」と回答した割合は、大型車ドライバーが約2割となり、一般ドライバーより低い結果となった。

【質問6】あなたの仕事以外の日常生活における自動車の利用状況について最も頻繁に利用するものをお答えください。



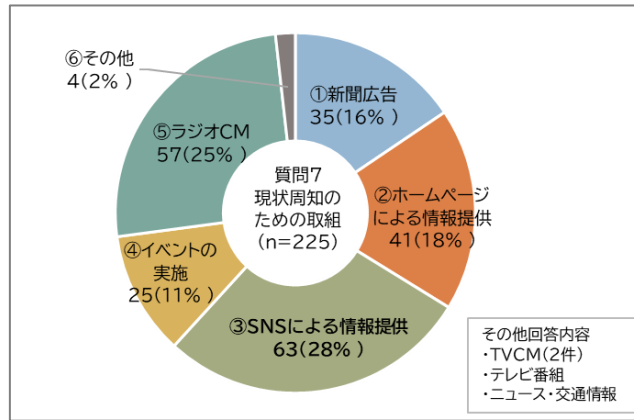
仕事以外での自動車の利用状況については、「① 普段大型車以外の車両を運転している」と回答した割合が約 8 割と最も多かった。

大型車ドライバー／一般ドライバー別



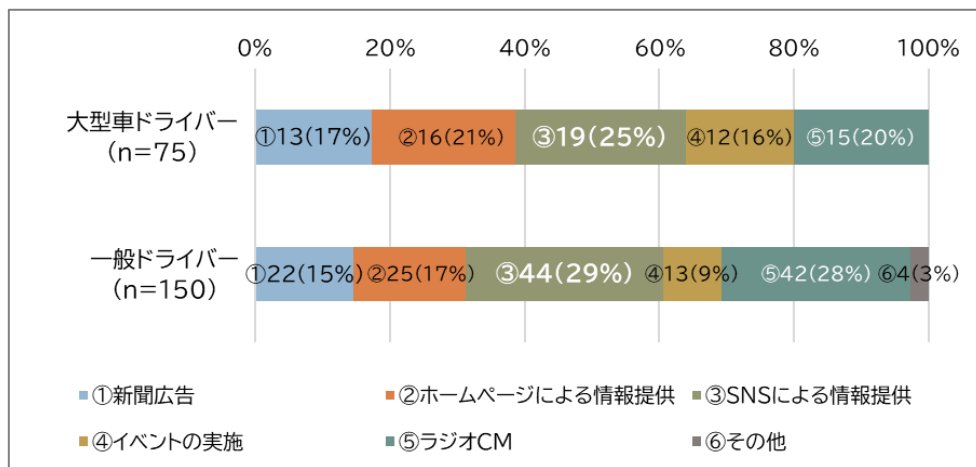
大型車ドライバー／一般ドライバー別に仕事以外での自動車の利用状況をみると、いずれも「① 普段大型車以外の車両を運転している」と回答した割合が約 8 割～9 割で最も多かった。

【質問7】 道路の老朽化問題や違法な重量オーバーの走行実態について、広く国民の皆様を知って頂くには、どのような取組を実施すると効果があると思われますか。



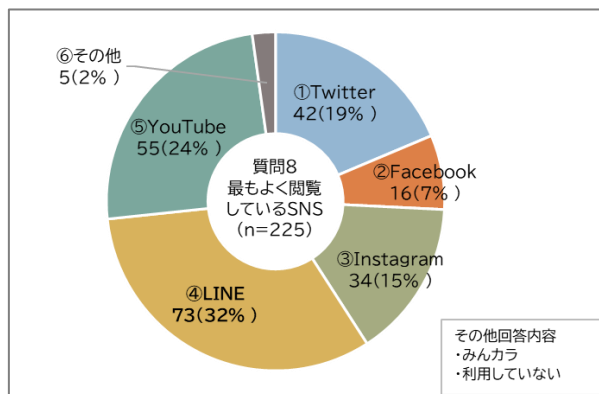
道路の老朽化問題や違法な重量超過車両の走行実態に関する認知度を上げるための手段として、「③SNSによる情報提供」と回答した割合が約3割で最も多く、次いで「⑤ラジオCM」と回答した割合が多かった。速報性・拡散性を持つソーシャルメディアが台頭する一方、依然としてラジオという媒体がドライバーと親和性が高いことを示す結果となった。

大型車ドライバー／一般ドライバー別



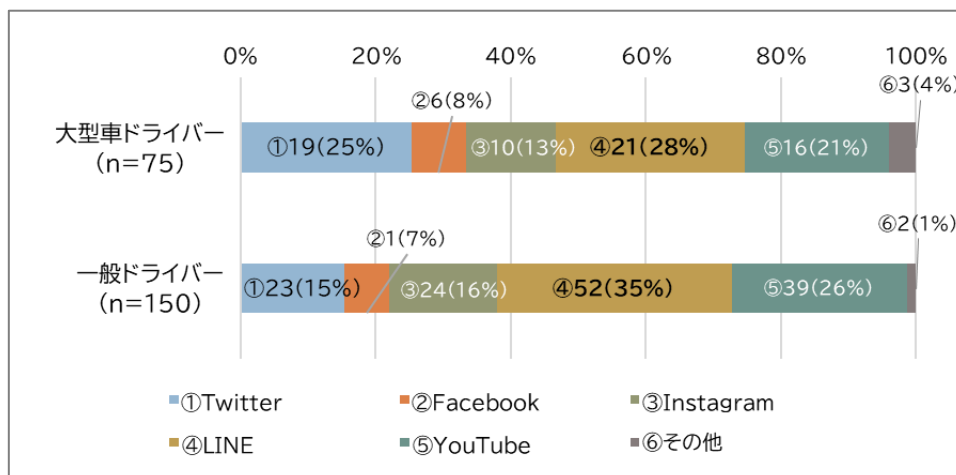
大型車ドライバー／一般ドライバー別に回答をみると、大型車ドライバー、一般ドライバー共に「③SNSによる情報提供」と回答した割合が約3割と最も多かった。

【質問8】 日頃、最もよく利用(閲覧)している SNS は、次のうちどちらですか。



日頃最もよく利用している SNS として「④LINE」と回答した割合が約 3 割で最も多く、次いで「⑤YouTube」が多かった。「②Facebook」との回答は減少傾向にあり、「⑤YouTube」との回答は増加傾向にある。その他回答 2 件の具体的な内容は、「みんカラ」「利用していない」であった。

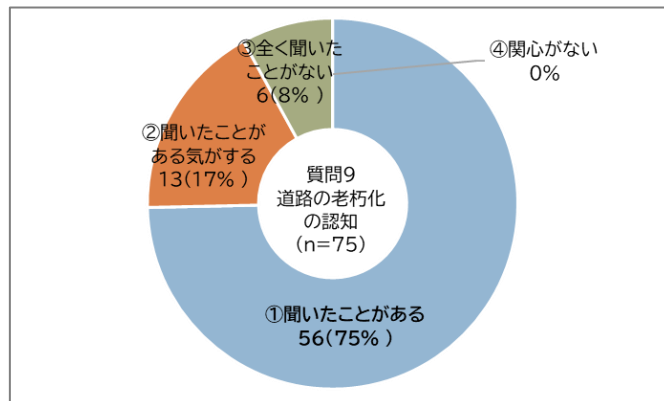
大型車ドライバー／一般ドライバー別



大型車ドライバー／一般ドライバー別に回答をみると、大型車ドライバー、一般ドライバー共に「④LINE」と回答した割合が最も多かった。大型車ドライバーにおいては「①Twitter」と回答した割合も高く、様々な情報をリアルタイムに取得することができる Twitter は、大型車ドライバーにとって利便性の高いツールであることが窺える。

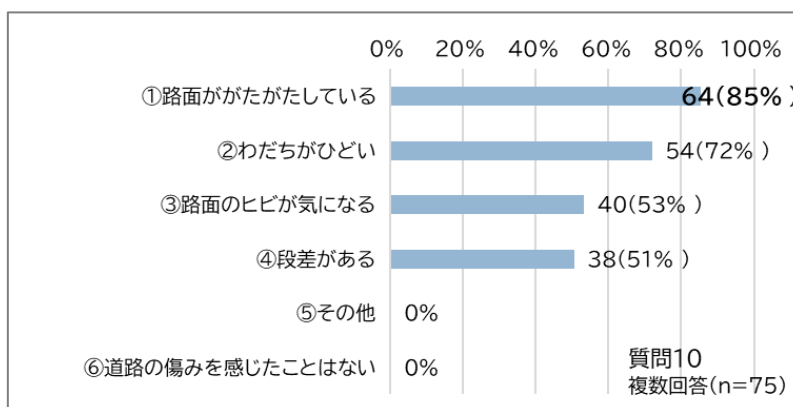
▶本調査（大型車ドライバー向けアンケート調査項目）

【質問9】 全国的に道路（橋など）が老朽化している問題を報道や会社でお聞きになったことはありますか。



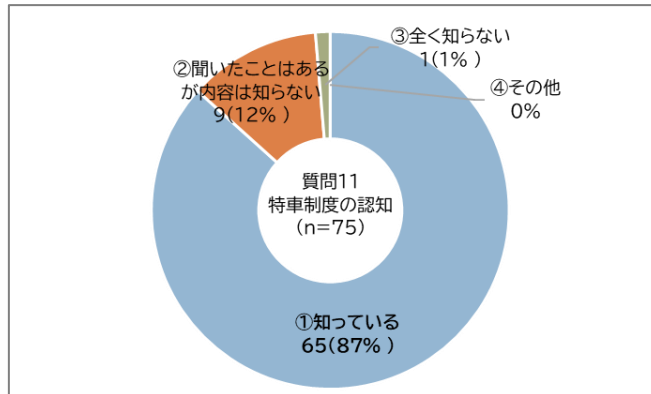
道路の老朽化問題の認知度は約 8 割であり、昨年度とほぼ横ばいであった。

【質問10】 大型車を運転していて、以下の選択肢にあるような道路の傷みを感じることはありますか。あなたがお感じになったことのあるものを全てお答えください。（いくつでも）



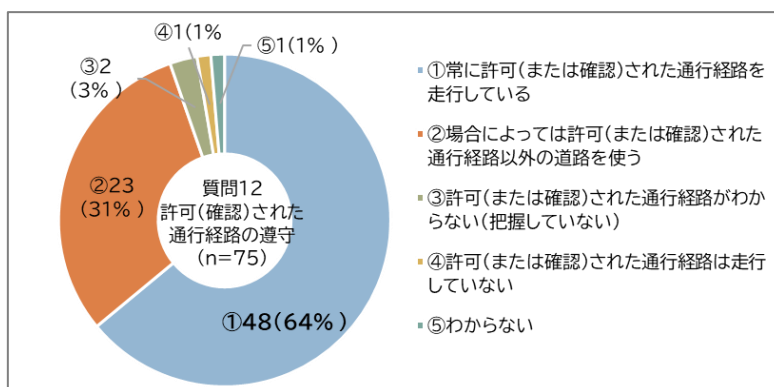
運転時に感じる道路の傷みに関しては、「①路面ががたがたしている」と回答した割合が約 9 割で最も多かった。

【質問11】 法令で定められた重さ等を超えた大型車は通行許可が必要ですが、このことをご存知でしたか。（定められた大きさや重さを超える車両を走行させる場合、通行経路の道路管理者に対して申請を行い、通行許可等を受けなければならない）



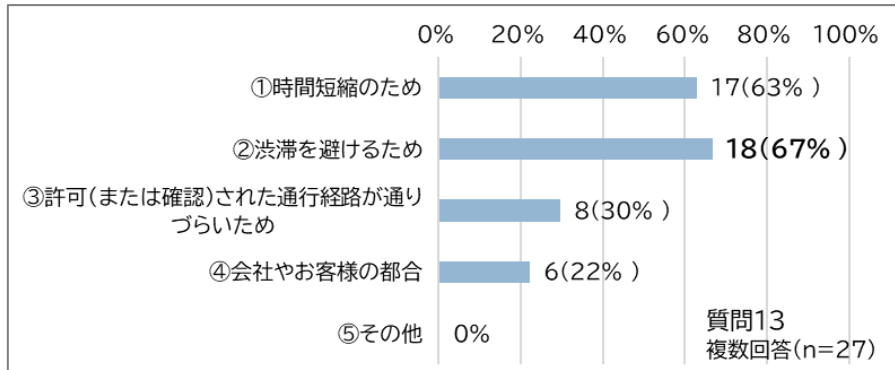
特車制度の認知度は約 9 割と比較的高い結果であった。一方で「②聞いたことはあるが内容は知らない」「③全く知らない」と回答した割合を合わせると約 1 割となり、一部のドライバーは特車制度の内容を把握せずに走行している可能性がある。

【質問12】 特殊車両通行許可証または回答書で許可（または確認）された通行経路をいつも走行していますか。（回答はデータの分析等のために利用し回答者の特定は一切行いませんので、あなたご自身のありのままの状況をお知らせください。）



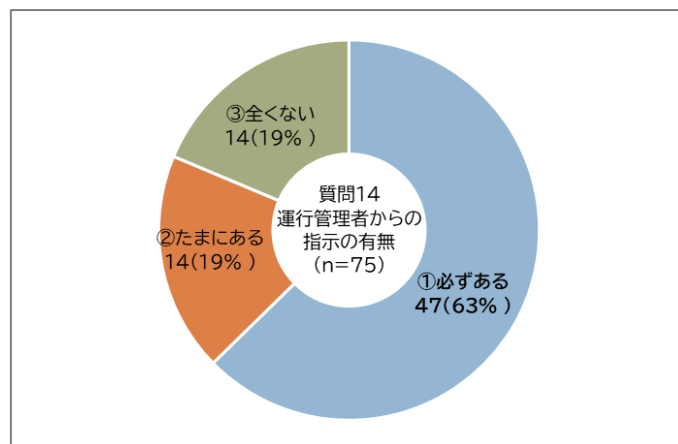
許可（または確認）された通行経路の走行状態について、「①常に許可（または確認）された通行経路を走行している」と回答した割合が約 6 割で最も多かったものの、残りの 4 割近くは必ずしもなされていない結果となった。

【質問13】 許可(または確認)された通行経路以外の道路を使う理由をお答えください。
 (回答はデータの分析等のために利用し回答者の特定は一切行いませんので、あなたご自身のありのままの状況をお知らせください。)(いくつでも)



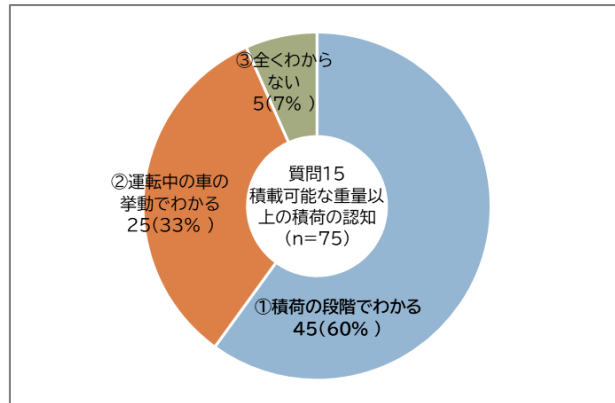
許可(または確認)された通行経路を遵守しない理由としては、「②渋滞を避けるため」が約7割で最も多く、次いで「①時間短縮のため」が多かった。また、「④会社やお客様の都合」という回答も約2割存在している。

【質問14】 積荷を運ぶ際に、運行管理者からの指示はありますか。(回答はデータの分析等のために利用し回答者の特定は一切行いませんので、あなたご自身のありのままの状況をお知らせください。)



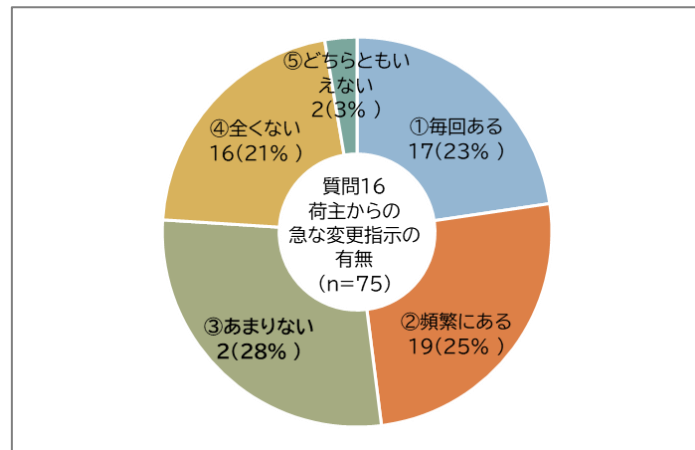
運行管理者からの指示について、約6割が「①必ずある」と回答した。一方で「③全くない」との回答も2割近い結果となった。

【質問15】 積荷積載時または運転中、積荷が積載可能な重量以上であることを感じたことはありますか。



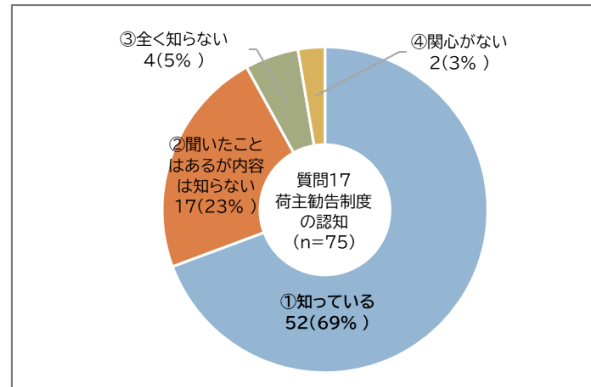
積荷が重量超過したことの検知について、「①積荷の段階でわかる」と回答した割合が約6割で最も多く、次いで「②運転中の車の挙動でわかる」との回答が多い結果となり、約9割が重量超過していることを認知しながら走行している可能性があることがわかった。

【質問16】 荷主(取引先)から、急な積荷の増量や、ルート変更等の指示をされたことはありますか。(回答はデータの分析等のために利用し回答者の特定は一切行いませんので、あなたご自身のありのままの状況をお知らせください。)



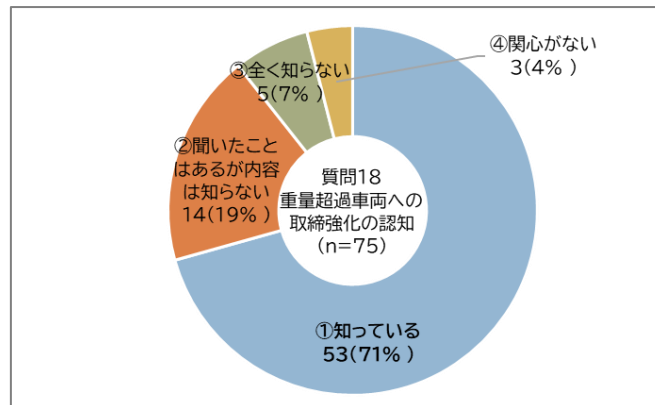
荷主による急な変更指示について、「①毎回ある」「②頻繁にある」と回答した割合は、合わせて約5割と昨年度より約1割減少し、「③あまりない」「④全くない」を合わせた割合とほぼ同割となった。

【質問17】 運送事業者の違反に対して、場合によっては荷主責任が問われる荷主勧告制度の内容をご存知ですか。



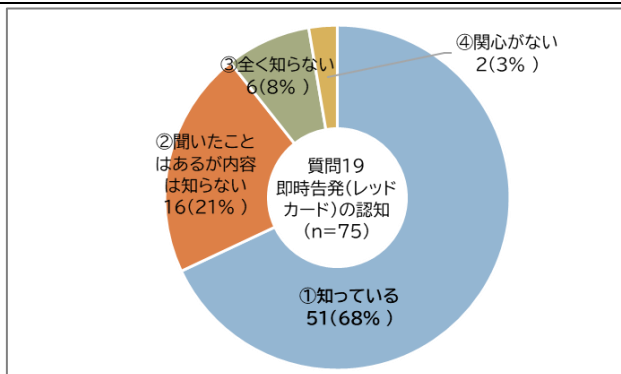
荷主勧告制度の認知度については、「①知っている」と回答した割合が、約7割と最も多かった。一方で「②聞いたことはあるが内容は知らない」「③全く知らない」を合わせると、残りの約3割近くが荷主勧告制度の内容を把握しないで走行している可能性があることがわかった。

【質問18】 重量を違法に超過した大型車(特殊車両)の取締りが強化されていることをご存知ですか。



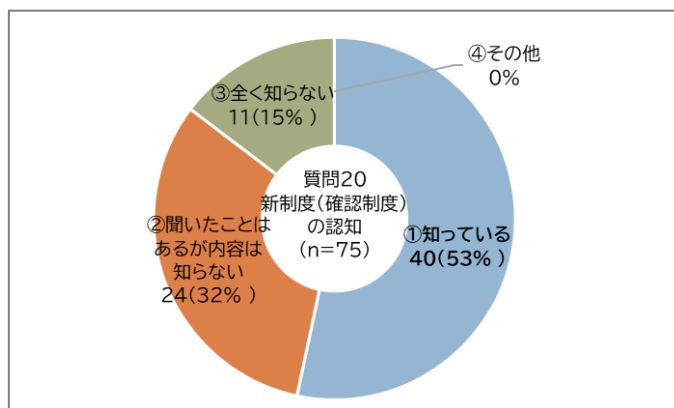
重量を違法に超過した車両への取締り強化について、約7割が認知していたが、約3割は内容まで把握していなかった。

【質問19】 車両総重量が基準の2倍以上の違反車両は現地取締り時に即時告発(レッドカード)となることをご存知ですか。



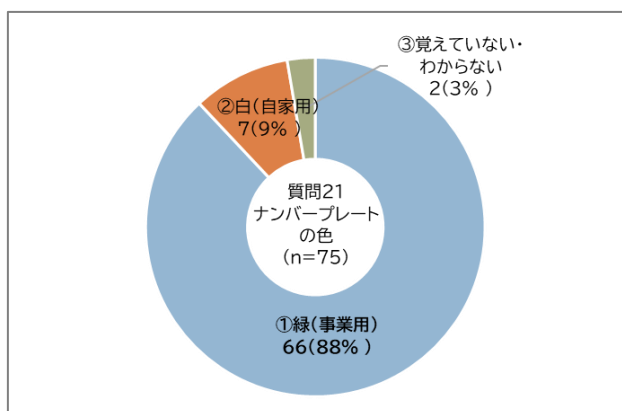
総重量2倍レッドカードの認知度は約7割であった。

【質問20】 令和4年4月から新たな「特殊車両通行確認制度」の運用が開始されましたが、このことをご存知でしたか。



「特殊車両通行確認制度」の認知度は約5割であった。

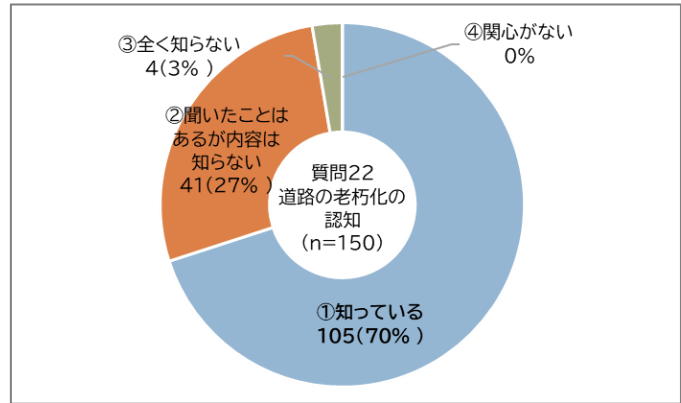
【質問21】 運転している大型車のナンバープレートは何色ですか。※主に使用しているものをお答えください。



ナンバープレートの色は、「①緑(事業用)」との回答が約9割と最も多かった。

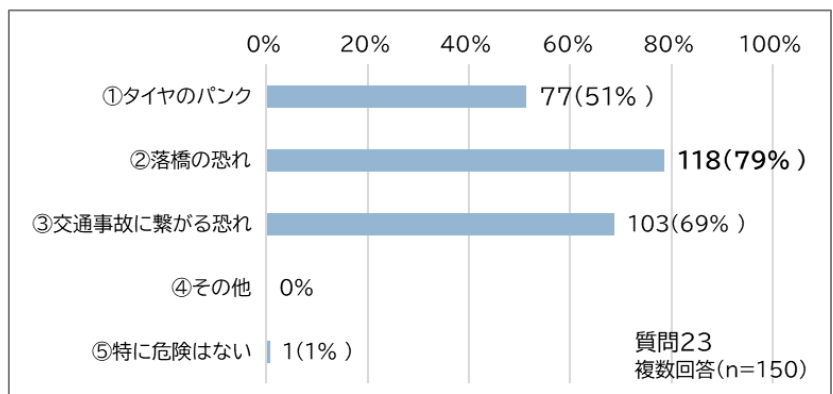
▶本調査（一般ドライバー向けアンケート項目）

【質問22】 全国で道路（橋など）が老朽化している問題をご存じですか。



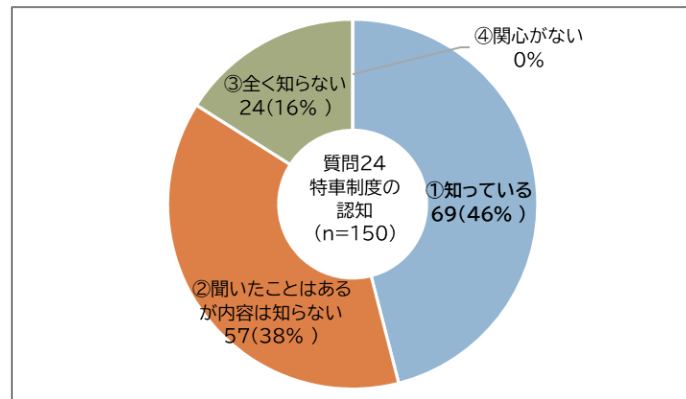
道路の老朽化の問題の認知度は約7割であり、昨年度に比べやや増加した。

【質問23 道路（橋など）の老朽化はどのような危険があると思われますか。（いくつでも）



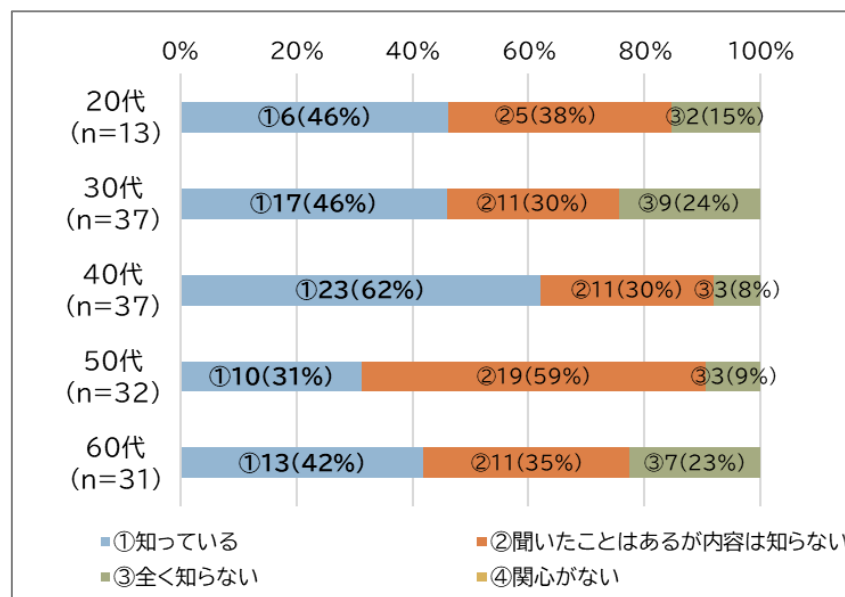
道路の老朽化に伴う危険については「②落橋の恐れ」と回答した割合が約8割と最も多く、次いで「③交通事故に繋がる恐れ」が多かった。

【質問24】 法令で定められた重さ等を超えた大型車は通行手続きが必要ですが、このことをご存知でしたか。(定められた大きさや重さを超える車両を走行させる場合、通行経路の道路管理者に対して申請を行い、通行許可等を受けなければならない)



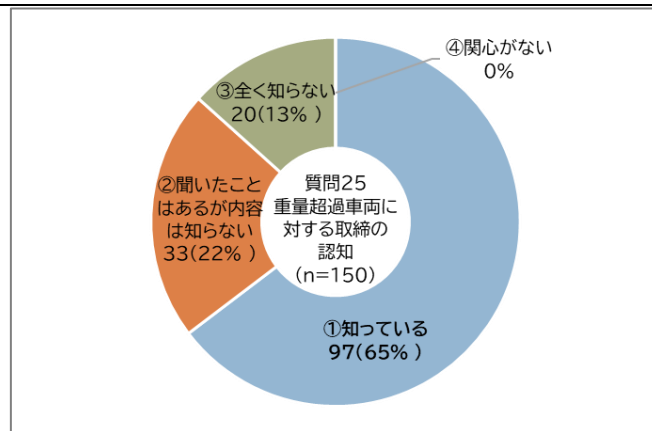
特車制度の認知度は約 5 割であり、昨年度より 1 割以上多い結果となった。

年代別



特車制度の認知度について年代別にみると、40代が約 6 割で最も多く、次いで 20代と 30代が約 5 割であった。

【質問25】 高速道路や一般道路では、重量オーバー等の大型車の取締りを行っていますがご存知でしたか。



高速道路や一般道路で実施している取締りの認知度は約7割であり、昨年度より2割以上増加した。

一般ドライバー向けアンケート結果をみると、全体的に昨年度に比べ認知度が増加しており、重量超過車両の存在やそれに係る取組み等が少しずつ認知されつつあることが推察される。